

5部

オンデマンド・
スクーリングのご案内



在宅で受講可能な「オンデマンド・スクーリング」を下記の科目について、実施いたします。※同一期に複数科目の申込みができます。

[重要]

オンデマンド・スクーリングでは、受講申込みからスクーリング試験提出まで、すべてパソコン上で操作していただきます。

また、オンデマンド・スクーリングのスクーリング試験は、一部の科目を除き、ワードファイルに解答を作成していただき、そのワードファイルをメールに添付して提出していただきます。

本学において、メールの送信、ワードの使用方法などパソコンの一般的な操作方法に関するご質問は受け付けておりませんのでご了承ください。

●今回申込みを募る科目＝オンデマンド・スクーリング 4～6期

期	(注4)			科目名	申込締切	受講開始	受講料 納入締切	スクーリング 試験締切 (正午)	\$単位	受講料
	～ 20	21 ～ 23	24 ～							
4		★	■	福祉行財政と福祉計画	5/17	5/28	6/7	6/26	1	5,000円
	◆			福祉計画法(旧カリ)						
		心理系		学習心理学						
		心理系		人格心理学						
	◆	★	■	社会福祉原論(職業指導を含む)						
5		★	■	福祉経営論	5/31	6/11	6/21	7/10	1	5,000円
	◆			福祉施設管理論(旧カリ)						
		★	■	社会福祉援助技術論B(注1)						
	特別支援			障害者教育総論(注2)						
		心理系		心理学概論						
	心理系		特講・福祉心理学11(受容と排斥の心理学)(注3)		6/14			1	7,000円	
6		★	■	社会調査の基礎	6/14	6/25	7/5	7/24	1	5,000円
	◆			社会福祉援助技術論II(旧カリ)						
		心理学		生涯発達心理学						
	特別支援			知的障害者の心理						
	◆	★	■	障害者福祉論(注1)			8/7	2	10,000円	

●申込上の留意点

(注1) 平成26年度配本の教科書を使用している科目。必要に応じて資料配付します。

(注2) この科目の担当教員は、昨年度までご担当いただいております荒川圭介先生となります。講義概要は、p. 32のとおりです。なお、この科目のオンデマンド・スクーリングは今回で終了します。

(注3) 特講科目ですが、スクーリング申込みが必要です。受講料を納入した方に教科書をお送りします。

(注4) ◆=平成14～20年度入学者 ★=平成21～23年度入学者

■=平成24年度以降入学者向け科目

※ 受講期間中はこまめにメールをチェックしてください（必要事項はすべてメールでご連絡します）。

※ 申込締切日以降に手続きを行います。受講許可者に対し、受講開始日までに講義資料および受講料納入依頼書をそれぞれ別便でお送りいたします。

また、すべての科目につきまして、「試験要領」は郵送いたしますが、TFUオンデマンド上でも、受講開始日以降にダウンロードできるようにいたします。

なお、後期（オンデマンド11以降）は、すべてダウンロードでご対応いただく予定となっておりますので、ご了承ください。

※ オンデマンド・スクーリング申込・受講・単位修得方法やTFUオンデマンド使用方法の詳細は『学習の手引き』10章、概要は2013～2015版 p. 11、2009-2011★版および2002-2008◆版 p. 9に記載がございます。必ずご理解いただいたうえで受講申込みを行ってください。

- 「2つの講義（試験）は同時に視聴（受験）できません」と表示される場合
『試験・スクーリング 情報ブック2015』 p. 61～62に対処方法が掲載されています。

●障害者教育総論 オンデマンド・スクーリング講義概要

担当教員 荒川圭介

■スクーリングで学んでほしいこと

我が国の特別支援教育の制度と障害者教育全般の基礎的な内容を理解してもらおうことをねらっています。ノーマライゼーションの理念実現のためには、障害者を正しく理解していくことが基本的に不可欠です。将来、どんな職業に就こうとも、これらを学んでいくことは大いに意義のあることです。

■スクーリング講義内容

- 1) 特別支援教育の制度
- 2) 視覚障害教育
- 3) 聴覚障害教育
- 4) 知的障害教育
- 5) 運動障害教育
- 6) 病虚弱児教育
- 7) 言語障害教育
- 8) 情緒障害教育
- 9) 発達障害教育

■到達目標

- 1) 我が国の特別支援教育の制度について説明できる。
- 2) 視覚障害教育，聴覚障害教育，知的障害教育，運動障害教育，病虚弱教育の歴史を説明できる。
- 3) 視覚障害者，聴覚障害者，知的障害者，運動障害者，病虚弱者，言語障害者，情緒障害者，発達障害者の特性や指導について説明できる。

■スクーリング評価の基準

スクーリング試験100%

■スクーリング時の教科書

佐藤泰正編 『特別支援教育概説 改訂版』学芸図書